



[令和 6 年 8 月 14 日 定例会発表要旨]

茶話会の結果報告と今後について

研究部 濱埜 静子

第 1 回の茶話会に参加して頂きありがとうございました。
初回ということで不慣れな所が多々あったかと思いますが、
グループ形式で当初の目的である仲間作りや親睦をはかる事が出来たと思っております。 少なくとも同じテーブルの方と話し合う事が出来、顔と名前が一致したのではないのでしょうか。

参加者 19 名、3 グループ A B C に分けて 1 グループ
5～6 名で実施。



研究部の説明

紙面に記入して頂けた事

A グループ 決めたテーマ

今のうちに聞けること
継続はしない

話し合った議案 手稲山、鉾山の散策。
手稲史跡巡り。 空襲
日石製油所概要。

商店街の今



A-グループ

その他 研究部の人も話し合いに入った方が良い。

B グループ 決めたテーマ

「仙台藩の北海道移住」
登別、手稲を中心に継続する。
メンバー未定。 全体に募る

話し合った議案 前田連合町内会「前田ふるさと会」
荒れる学校を無くす。



B-グループ

C グループ 決めたテーマ

遺跡、資料館、巡りをして歴史を知る

継続しない（研究部で進めいく）

話し合った議案 遺跡、資料館、郷土館」巡りをして歴史を知る

手稲区、札幌の市内、全道の地域巡り

見る、触る体験型のツアー

歴史ガイドマップを巡る

車に分乗して視察旅行をする。

本を提供し合、歴史を知る

自分の家系を調べる

歴史を知る（一ノ宮さん）



以上、結果です。

C-グループ

<今後について>

- 各グループから提出された「決めたテーマ」「話し合った議案」については研究部の今後の参考とさせていただきます。
- 「継続する」とした B グループのテーマについて、全体から参加者を募りグループリーダー（鈴木正通）が進めていく形を取りたいと思います。
- 【研究部で進めていく】、(C グループ) との意見がありましたが、研究部では人員が不足で主導での対応は難しいですがオブザーバーという形での参加は出来ます。
- 郷土史研究会を盛り上げて楽しく歴史を勉強していく一歩に

なればと思っています。

茶話会後の懇親会



次回定例会 10月9日 18時15分 区民センター3階視聴覚室

発表内容「乗り越えた天寿第3段」手稲郷土史研究会特別顧問 平木 重雄

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第197号 令和6年9月11日発行

発行責任者：沖田紘昭（手稲郷土史研究会 会長） 編集：立花邦雄・川上義昭

♣006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林俊一方 手稲郷土史研究会

*TEL 090-3381-4994 *FAX 011-682-9874

♣メールアドレス teinenorekishih@gmail.com 担当 菊池 博行